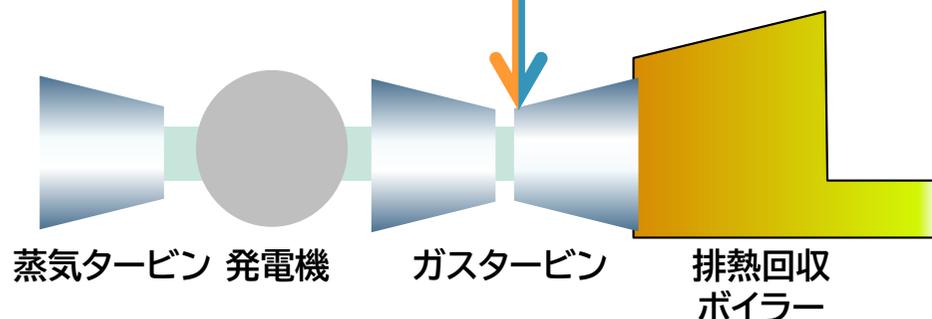




- 新潟火力発電所5号系列での水素混焼試験は、燃焼してもCO<sub>2</sub>を排出しない水素を既存の天然ガスに混合し、ガスタービンにおいて燃焼させて発電することで、燃焼状態等の確認を行うものです。
- 今回の混焼試験では、昨年度の実証試験で確認した混焼率(体積比1%)を上回る量の水素を混焼するため、机上検討にて既存のガスタービン燃焼器で安全に燃焼できると判断した最大限の量を8%(体積比)と試算し、試験を行ったものです。  
⇒結果、これまでで最大となる8%(体積比)の混焼を達成いたしました。
- このほか、今回の試験では、水素混焼中の出力増減操作が発電に与える影響についても検証を行っております。

「水素混焼」のイメージ



&lt; 今回の水素混焼試験の概要 &gt;

対象号機	新潟火力発電所第5号系列5-1号
所在地	新潟県新潟市東区桃山町
出力	5.45万kW
試験日	2024年10月29日、30日
水素混焼率	最大8%(体積比)
水素供給元	水素トレーラー

&lt; 今回の混焼試験の様子 &gt;



水素トレーラーから水素を供給



試験開始前のミーティングの様子

当社は、本試験で得られた知見を将来的には大型ガスコンバインドサイクル設備への展開に活用する等、LNG火力の脱炭素化に向けて、積極的に挑戦してまいります。